

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	財政課
会議名 (審議会等名)	令和5年度 第2回 嬉野市公共施設等管理計画策定委員会		
開催日時	令和6年2月26日(月) 13:30~14:35		
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎 3階 3-1会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	桑原副委員長、宮崎委員長、田中委員、藤川委員、諸岡委員 …5名	
	事務局	行政経営部長(永江)、財政課長(中村)、財政課資産管理 G (馬場、尾崎)	
	その他	計画策定業務請負業者(東亜建設技術(株)) 2名	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	嬉野市公共施設等総合管理計画【改訂版】(素案)		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	財政課
議 題	(1) 計画素案の説明(次第3)		
内 容	東亜建設技術(株)より公共施設等総合管理計画【改訂版】の素案について説明を行った。		
審議経過	委員長	ただいまの説明について、委員の皆様から何かご意見やご質問はありませんか。	
	委員	試算については、何十年先まである程度物価高騰とかその点は加味してあるのでしょうか。	
	東亜建設	確かに物価高騰はあるのですが、今回このシミュレーションは総務省が出された更新費用という単価を使っております。ですので、40年間一律同じ金額を入れた場合というケースでシミュレーションしていますので、今回物価高騰、コストにはいくら上がるというのは反映されていません。あくまでも横並びで評価するときには同じベースとして考えますので、とりあえずは今の金額を40年間でどの時期に更新になるかというのを積み上げたということを理解していただければよいかと思います。	
	事務局	急激な物価高の中で、来年のこともわからない状況です。	
	委員	家を建てるのもこれまで2千万で建てていたのが、現時点では3千万、4千万になっています。	
	事務局	対応策も練れないぐらいの金額が跳ね上がり、更新できないような形になってしまいますので、今できるのはおっしゃったとおり、総務省の単価をもとにした数字が具体的な金額でいくらぐらいかかるのかなどで決められないから難しいところですね。すみません、ご了承をお願いします。	
	委員	今の話に関連してなんですが、総務省の更新費用単価も含め、㎡	

	<p>単価を採用するというのがスタンダードだと思います。委員がおっしゃったように、ここ近年の資材高騰がとんでもないぐらい上がっています。特に金属系がここ数年3倍ぐらいまで上がってきているという情報は私も把握しております。28年度に総合管理計画の初版が作られたときは、総務省単価でやると高すぎないかと言われたんですね。それが今逆転現象になっている状況です。</p> <p>PDCAサイクルでPLAN、DO、CHECK、ACTIONでやるわけなんですけれども、総務省の通達では、計画は作ってもうおしまいではなくて、社会情勢に合わせて定期的に見直しをかけなさいとあります。それは先ほどの物価の変動もありますし、社会情勢の変化もありますので見直し期間、計画の進行管理の中に、何年に一度、人口、財政とかシミュレーションの部分を見直しますというのを入れた方がいいのではないのでしょうか。計画はどうしても40年間というものすごく長い期間なので、所々で第1期見直し、第2期見直し、今回第1期見直しだと考えて、当初の策定からちょうど5、6年経ったところなので、最低5年10年以内には1回ぐらい見直すとかそういうところをこの計画に謳っておいた方が理解を得やすいのではないのでしょうか。で、もう1つ説明を受けて今回受けた印象が、各自治体の総合計画が一番最重要の計画であると思いますが、その計画というのは将来にわたって住民の方の生活がより良いものになるためにという前向きな計画ではないですか。なのに今回削減というのが非常に前面に出ているのでマイナスイメージが強いです。お金の話は先ほどおっしゃったように、将来の人口に合わせて縮減していかないと回らないという現実があるんですが、不要なものは縮減して、必要なものは新規に拡充して、住民生活はちゃんと向上していきますよと総合計画に謳ってあるように、総合計画との整合性を言葉だけでもいいので、将来に希望を持てるようなイメージを足した方が、理解を得やすいのではないのでしょうか。これを減らす、あれをなくすだと、どうしても住民側からの感情としては、どんどんサービスが減っていくイメージを受けられると思いますので、そこがちょっと気になりました。</p>
委員	<p>前回のアンケートの調査結果ですけど、回収率がものすごく低いんですけど、これではアンケートを取るにしても意味がないような気がします。もっと回収率が高くなるように何とかしてもらいたいです。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。回収率につきましては、他の計画でもものすごく低くて、逆に27パーセントは少しいい方かと思いま</p>

		<p>す。ただ設問を短くしたり、簡単にしたりとか、今後計画を策定するにあたってのアンケートをとる際にも、そういったことをまず念頭に置きながら取り組んでいきたいと思います。</p>
	委員	<p>そもそも市長はこの計画についてはどういう風に考えておられますか。</p>
	事務局	<p>この計画ができて、策定委員会の結果を市長に報告しますので、ああしろこうしろという様な市長の指示はこの計画に反映されていません。</p>
	委員	<p>この委員会だけというより市民の皆さんにもうちよつと危機意識というか、嬉野市の状況を事細かにわかりやすく説明していただいて理解を得るようにしてもらいたいです。</p>
	事務局	<p>この計画自体が今回51頁ですけれども、今回の説明がかなりわかりやすい説明になっていると思います。我々もこれだけの施設数があつて、一つ一つをどうしようかというのは本当に難しい話で、全体的にこうしていきますよというくらいのお話をまとめているのですが、概要版のようなものを簡単に作ってホームページ等に載せて、市長の情報発信の件は、必ず市長にも伝えますのでよろしくをお願いします。</p>
	委員	<p>今のお話で、一つの事例ではあるんですけど、他の自治体等で、これに対する公共施設マネジメントについての市民公開講座であるとか、あと中学生高校生向けのワークショップを取り組まれたんですけれど、実際に公共施設に中学生高校生を連れて行き、こういう形で維持管理しているんだよという様な現地研修的なワークショップをされました。また、市内の高校の美術部員さんが将来にわたって公共施設をどうにかしないと廃墟になってしまうよというようなイメージの漫画を描いて、市役所の窓口や出先機関に置いたり無料配布された自治体もあります。色んな取り組みの仕方というのは他の自治体の良い事例を取り入れて、文章の下に合った形で取り組まれたらいいのではないのでしょうか。せっかく温泉とかお茶とか名産があるわけじゃないですか。そういった産業については嬉野市の特色としてもっとプッシュしていいところがあるんですよと、その代わり絞らないといけないところもあるんですよという合わせ技でないと、やっぱり魅力あるまちづくりのための計画というイメージでこの公共施設等総合管理計画はあるべきではないのかなという風に思います。</p>

	委員	<p>庁舎の利活用問題で、その委員にも入っていますが、高校生ともワークショップをずっとやったんですね。やはり大人では固まった考えしか出ませんが、高校生は素晴らしい考えがどんどん出ました。さっき言われたように若い人、これから少子化少子化というばかりではなくて、若い人の意見をどんどん出してもらった方がよいと私は思います。</p>
その他		

議 題	(2) その他(次第4)	
内 容	事務局より、今後の予定について説明と課長挨拶を行った。	
審議経過	委員長	<p>ただいまの説明について、委員の皆様から何かご質問やご意見はありませんか。</p> <p>委員</p> <p>パブリックコメントの周知はしていますか。</p> <p>事務局</p> <p>ホームページ上に載せます。パブリックコメントを実施しますというのは、市報等には載せません。</p> <p>委員</p> <p>それを知っている人だけで、皆さんに意見をもらうことが難しいのではありませんか。</p> <p>事務局</p> <p>確かにパブリックコメントのやり方は中々難しいです。</p> <p>委員</p> <p>いつもそこに疑問を持っています。</p> <p>委員</p> <p>私もです。コメントをする人は決まっていて、見ている人は見ているけれど、普通の人はどうかなと、この計画だけではなく、何においてもつくづく思っています。</p> <p>委員</p> <p>形式だけで終わりますみたいな感じがします。</p> <p>事務局</p> <p>今回は委員さんのおっしゃるとおり、もう少し前もってお知らせできたかもしれませんが、今回この改訂に関しては、こちらの日程調整もあって、年度末ギリギリになってしまい、期間のこともありますので今回に関してはホームページ上で意見を募集しますと周知して、先ほどのお話にもありましたとおり、他の課でもそういうことがあれば、こういった意見がありましたのでパブリックコメントはもう少し時間をとって周知をして始めてくださいという提案をさせていただきます。</p> <p>委員</p> <p>市のアパートの80パーセントが40年以上になっていましたけど、-80パーセントというのは全部建て替えなければならないと思いま</p>

		<p>すけど、嬉野市にはアパートはたくさん余っていると思うので、建てるよりそういうところを借りた方がよっぽど安くつくのではないですか。</p> <p>委員 公営住宅なので住居者がいらっしゃるとなると中までのチェックが中々出来ません。まずもってその80パーセントという老朽化比率になっていますけど、これはあくまでも帳簿上の話で、国税庁が決めたこの建物は何十年が耐用年数ですよというのに対して、何年経過したというパーセンテージなのであくまでも物理的な物として、これだけ80パーセント以上古くなっていますというのがまた違うんです。なので、公営住宅、市営住宅の長寿命化計画の中で実際診断をして、物理的なチェックも多分なされているはずなんですよ。それとこの80パーセントという一つの目安、ものさしと実際の物的にどれだけ古くなっているかというのが最初に確認しなくてはならないところです。そして認可のアパートとかいっぱいありますよと、確かにある自治体では建て替えるよりは、民間の住宅を活用してもらうようにされているところもあります。そこは小規模な自治体ですが、そういう事例もあります。</p> <p>事務局 今回、第2回の委員会ということで、素案を基に協議して、特にここを修正してくださいとか、そういう話もありませんでしたので、この素案のまま基本的にパブリックコメントを行いたいと思います。ただ、今回の計画を今後また5年、10年度に計画するという具体的な見直し期間、それはPDCAサイクルを盛り込みたいと思います。よろしいでしょうか。それともう一点で、縮減削減という風なマイナス的な表現ばかりですが、必要なものは残しますという風なニュアンスの文言をこの今後の方針のところに盛り込みたいと思いますので、その点もよろしいでしょうか。では、この2点を素案に盛り込んだ形でパブリックコメントを行いたいと思いますのでよろしく願いいたします。なお、パブリックコメントの結果で、大きな問題がなければ今回の委員会はこれをもちまして終了とさせていただきます。</p> <p>皆さん本日を含めまして、2回の委員会ありがとうございました。市からの代表ということで担当していただきましたけれども、貴重な意見を賜りまして、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。今後も嬉野市としては、大変裕福な方ではありません。ただ先ほども何回かお話がありましたとおり、縮減削減といわずに、必要な物は残していくというような方針で公共施設の維持管理に努めていきたいと思いますので、今後ともまた機会がありましたら、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
--	--	--

	委員長	それでは本日の議事については、すべて終了したということで、これで第2回嬉野市公共施設等管理計画策定委員会を閉会としたいと思います。お疲れさまでした。
その他		